

1. 事業評価説明シート

事業名	治水事業 [統一級河川整備事業(国補)]	事業箇所	中央市浅利	地区名	浅利川	事業主体	山梨県
(1) 事業概要 ①課題・背景 浅利川は甲府盆地の南に位置し、笛吹川へ注ぐ流域面積9.9km ² 、流路延長3kmの一級河川である。堤防安全性照査の結果、浅利橋上流約700mの区間において、すべり破壊及び浸透破壊について所定の安全率を満足できないことが判明した。本河川の想定氾濫区域内には、国道140号等の重要施設をはじめ、多数の住宅も含まれており、洪水により被災した場合には住民生活に多大な影響を与えられと考えることから、早急な堤防強化対策を行う必要がある。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○洪水被害の防止 ・改修目標流量に対する現況流下能力の割合：1.0 > 0.4※以上 ・浸水被害又は水防活動の実績：有（現地調査による、漏水、湧水の確認） ・想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有（重要な公共施設：国道140号） ※評価基準値 □副次目標 — □副次効果 ○被災時の被害波及の防止（緊急輸送道路：国道140号）				(3) 事業の妥当性評価 妥当・妥当でない ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 河川法第1条及び第9条により河川の洪水防止を義務づけられている ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 県が管理する一級河川である ③経済妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 費用便益費 便益(B)/費用(C) = 13.9 > 1.0 ・便益(B) = 6,378百万円、・費用(C) = 458百万円 ④事業実施・規模の妥当性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 堤防点検の結果から安全性が不足している区間を事業範囲として設定 ⑤整備手法の有効性 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現河川敷を利用し、堤防強化対策を実施することで経済的であり事業効果が大きい ⑥環境負荷への配慮 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 覆土、寄せ石などを行い水際部の植生環境に配慮する ⑦事業計画の熟度 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元要望あり 総合評価 [貢献度ランク：a] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
(2) 整備内容 ①整備内容 堤防強化対策L=700m ②着手年度 平成30年度 ③完成見込年度 平成34年度 ④総事業費 約400百万円(国費200百万円(5/10)県費200百万円(5/10)) ⑤年度別の整備内容 (事業費) 平成30年度 詳細設計 20百万円 平成31年度 堤防強化対策工 100百万円 平成32年度 堤防強化対策工 100百万円 平成33年度 堤防強化対策工 100百万円 平成34年度 堤防強化対策工 80百万円 ⑥既整備内容・期間・事業費 なし				【事業位置図等】 			

2. 添付資料シート

(浅利川)



現況写真



H26 漏水状況

